

平成26年度第2回（通算16回目）資金管理委員会議事録要旨

- ◆開催日時 平成27年3月19日（木） 13時～15時
- ◆開催場所 兵庫県庁2号館2階 参与員室
- ◆委員出席者 甲斐委員（会長）、佐竹委員、河村委員、米田委員
- ◆事務局出席者 中之藪資金財産室長、和田班長、加藤主査、中本主任

1. ひょうご豊かな海づくり協会の資金運用について

- 協会の自主事業に充当するための協会固有財産の運用であることから、運用方法を協会の自主判断に委ねることとするのはやむを得ない。（1名の反対者があった）
- しかし、資金運用に関し協会の自主判断に委ねるとしても、まずは密接公社である以上、公社等経営評価委員会において議論すべきではないか。

2. 資金運用について

【平成26年度資金運用実績（見込み）】

- 一日当たりの運用額は減少したものの、昨年度と同程度の運用利回りを確保しており概ね妥当な運用ができています。

【平成27年度資金運用計画(案)】

- 金額も大きな変動はなく、概ね従来どおりの運用方針である。
- 県債発行残高の年限内訳に見合う形で、県債管理基金の運用形態を選択することは一つの考え方であるが、（異次元金融緩和終了後に金利上昇が見込まれることなど）今後の金融情勢等もよく考慮して運用すべきである。

3. 資金調達について

【平成26年度県債発行実績】

- 金利リスクが高まっているが、低利長期で資金調達できている。

【平成27年度県債発行方針（案）】

- 直ちに支障が生じるという話ではないが、今から将来の資金の安定的調達について考えておく必要がある。

- 発行年限の多様化は、投資家需要を勘案し、15年債などを発行していただきたい。
- 変動金利債の割合は他府県に比べて高いと思われるが、金融機関との関係もあり、将来の安定的な調達につながるのであればやむを得ない。
- 住民参加型の県債発行も継続してほしい。
- デリバティブ組込ローンは、従来どおり行わない。
- IR活動も成果がでてきているようなので、継続してほしい。

4. 関連会社等への運用状況ヒアリング実施について

- 会社の資金運用に係る体制整備状況の確認や中長期的な管理計画について、園芸・公園協会のヒアリングを平成27年度第1回目の資金管理委員会で実施する。